

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)(案)

令和 年 月 日

協議会名:燕・弥彦地域公共交通会議

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
1.株式会社燕タクシー	燕市デマンド交通 おでかけきらん号	広報紙への掲載やパンフレットで周知を図り、利用者は前年に比べ増加した。また予約受付時や窓口・電話での問い合わせ対応時において、比較的空いている時間帯での利用を案内することにより、少しずつではあるが予約の分散化が図られ、利用者の増加につながっている。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C デマンド交通の1日平均利用者数が、目標の160人/日(年換算38,560人)に対し、実績が151.6人/日(年換算36,477人)と下回り、事業が計画に位置づけられた目標を達成できなかった。新型コロナウイルスの感染拡大により利用者数が一時的に落ち込んでいる状況が続いている。	気象状況によっては予約を制限することも必要であり、これからの利用者の安全を第一に考えた運行を行っていく。 また、利用時間帯の集中については、高齢者の通院利用が多いことが要因となっており、利用者数の増加に向け、今後も分散化を図る取組みを継続的に実施していく。 引き続き、新型コロナウイルス感染対策として、車両の消毒や換気、利用者のマスク着用などを呼びかけしていく。
2.株式会社中央タクシー					
3.中越交通株式会社					
4.まきタクシー有限公司					
5.地藏堂タクシー有限公司					
6.弥彦タクシー株式会社					
7.越佐観光バス株式会社	弥彦・燕広域循環バス やひこ号	広報紙への掲載や観光シーズンにチラシを作成し配布するなど、住民以外の人達にも広くPRし、利用促進のための啓発を行った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C 広域循環バスの1日平均利用者数が、目標の80人/日(年換算19,280人)に対し、実績が62.4人/日(年換算14,965人)と下回り、事業が計画に位置づけられた目標を達成できなかった。新型コロナウイルスの感染拡大により利用者数が一時的に落ち込んでいる状況が続いている。	より多くの方々に利用してもらえるよう、今後も啓発等による利用促進を図り、利用者数の増加に努める。 引き続き、新型コロナウイルス感染対策として、車両の消毒や換気などを実施していく。